

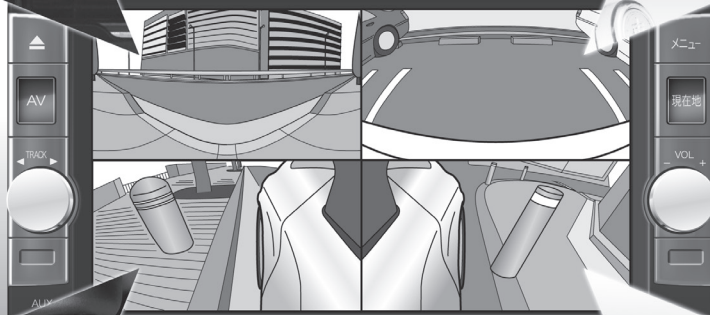
# マルチカメラスプリッター MCS296

## 取扱説明書

**FRONT CAMERA**



**REAR CAMERA**



**LEFT SIDE  
CAMERA**



**RIGHT SIDE  
CAMERA**



このたびは、マルチカメラスプリッター MCS296をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。製品をご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになられたあとは保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

## 目次

目次	1
ご使用になる前に(必ずお読みください)	2
各部の名称	3
本機の動作について	4
ワンタッチ映像出力機能について	5
リバース連動機能について	6
ウインカー連動機能について	7
映像出力機能の表示変更について	8~12
車速連動機能について	13
工場出荷状態に戻す(リセット方法) / 電圧可変出力について	14
故障かな?と思ったら	15
アフターサービス/メーカー保証について	16

## 注意事項の定義

注意事項は「危険」、「警告」、「注意」「重要」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

- ⚠ 危険** 守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの。
- ⚠ 注意** 守らないと車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの。
- ❗ 警告** 守らないと法律に違反する恐れがあるもの。
- ❗ 重要** 本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと。

**❗ 重要** 本機の映像出力をナビのリアカメラ入力に接続している場合、本機の動作中はナビの自車位置が不正確になります。

- 装着されるナビによっては、本製品の作動中に車速に関するエラーメッセージがナビ画面に現れることがあります。エラーメッセージが表示される場合には当社製品の車速出力線を使用しないでください。尚、ナビの車速線は通常通り、車両側へ接続してください。
- 本製品の動作中は、ナビの自車位置が不正確になります。これは本製品がナビへリバース信号を出力し、強制的にリアカメラ画面を表示させている為です。これにより本製品の動作中は車両が進んでいるとナビが誤判断し、画面上の自車位置が不正確になります。そのため、ナビの目的地案内を使用しているときは、本製品の使用時間を極力短くするようにしてください。なお、不正確になった自車位置は、本製品の動作停止後、ナビのGPS機能によって補正されます(補正にかかる時間はGPSの受信状況により変わります)。

- ⚠** カメラ映像は、ドアミラーやバックミラー等と同様にあくまで車の安全運転をサポートするためのものです。運転中は必ずドライバー自身が直接周囲の安全確認をおこなってください。
- ❗** 運転者が走行中にテレビやナビの画面を注視することは道路交通法第71条により禁じられています。走行中に本製品を使用する場合は画面を注視しないようご注意ください。
- ⚠** 走行中は無理にコントロールスイッチ操作をおこなわないでください。走行中にコントロールスイッチを操作する際は、運転に対する集中力が散漫にならないよう特にご注意ください。
- ❗** 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

# 各部の名称

## 本体

### コントロールスイッチ接続端子

コントロールスイッチを接続します。  
(詳細は取付説明書「取り付け概要図」をご参照ください。)

### メインハーネス接続端子

## スイッチ

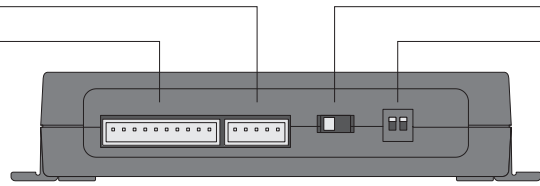


セレクトボタン

パワーボタン

### カメラ映像入力端子

各カメラの映像出力端子を接続します。

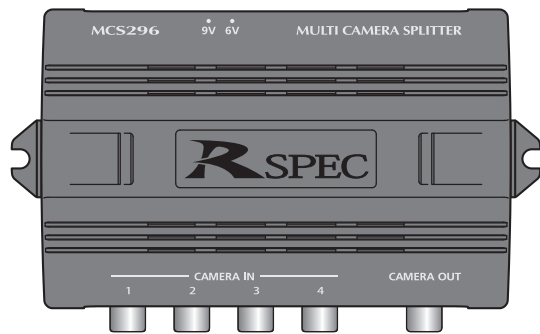


### 出力電圧選択スイッチ

弊社MCAハーネスを併用する際に使用します。選択する電圧値についてはMCAハーネスの取付説明書を参照してください。

### 車速パルス設定用DIPスイッチ

詳細はP13ページへ



### カメラ映像出力端子

カメラ映像を出力します。

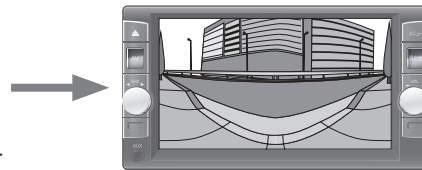
# 本機の動作について

## ワンタッチ映像出力機能 (詳細は P5 ページへ)

→ パワーボタンを押すと、設定したカメラ映像が画面に出力されます。もう一度パワーボタンを押すとカメラ映像が停止します。



パワーボタンを押す

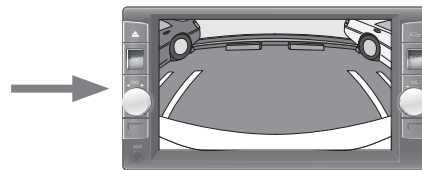


## リバース連動機能 (詳細は P6 ページへ)

→ シフトレバーをリバース (R) にシフトしたときにカメラ映像を表示します。



リバース時



## ウィンカー連動機能 (詳細は P7 ページへ)

→ ウィンカー動作中にカメラ映像を表示します。



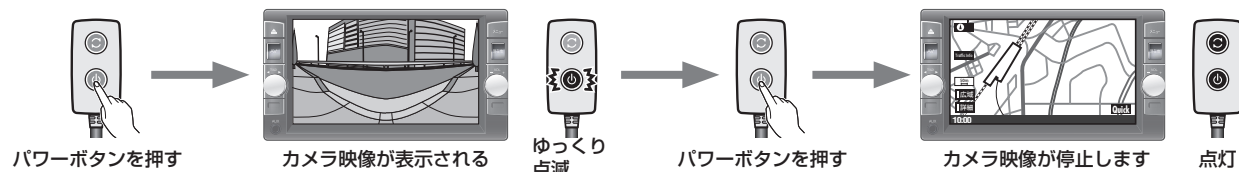
例：左ウィンカー動作時



# ワンタッチ映像出力機能について

## ワンタッチ映像出力機能

➔ パワーボタンを押すと設定したカメラ映像が出力されます。もう一度パワーボタンを押すとカメラ映像が停止します。



## ワンタッチ映像出力機能の表示変更

➔ ワンタッチ映像出力機能作動時に表示する映像を変更できます。

⚠ 周囲の安全確認をおこない、必ずパーキングブレーキをONにした上で、フットブレーキを踏みながら設定してください。

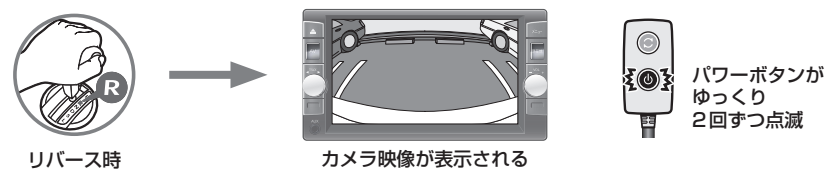
1. パワーボタンを押してワンタッチ映像出力機能を動作させます
2. P8～P12の「表示映像の変更について」をご参照ください

- ワンタッチ映像出力機能の作動中は、パワーボタンが5回点滅したあと、遅い点滅が継続します。
- ワンタッチ映像出力機能の作動中に電源を切った場合、次回エンジン始動時はワンタッチ映像出力機能が作動した状態で起動します。
- ワンタッチ映像出力機能が作動していないときは、パワーボタンは点灯状態になります。
- ワンタッチ映像出力機能が作動中も各連動機能は作動します。連動機能は「ワンタッチ映像出力<ウインカー連動機能<リバース連動機能」の順で優先作動します。

# リバース連動機能について

## リバース連動機能

➔ シフトレバーをリバース (R) にシフトすると設定したカメラ映像が画面に表示されます。シフトレバーをリバース (R) 以外にするとカメラ映像が停止します。



## リバース連動機能の表示変更

➔ リバース (R) 時に表示する映像を変更できます。

⚠ 周囲の安全確認をおこない、必ずパーキングブレーキをONにした上で、フットブレーキを踏みながら設定してください。

1. 車両側シフトレバーをR(リバース)にシフトしてリバース連動機能を動作させます
2. P8～P12の「表示映像の変更について」をご参照ください

- リバース連動機能を使用するためには接続ハーネスのリバース信号線を接続する必要があります。
- ワンタッチ映像出力機能・ウインカー連動機能作動中も、シフトレバーをリバース(R)に切り替えるとリバース連動機能が優先して作動します。
- リバース(R)中はリバース連動機能が優先され、ワンタッチ映像出力機能とウインカー連動機能は作動しません。
- リバース連動機能はOFFにすることができません。この機能が不要な場合は接続ハーネスのリバース信号入力線(紫線)を接続せず絶縁処理してください。

# ウインカー連動機能について

## ウインカー連動機能 [工場出荷時：OFF]

→ ウインカーが作動すると、設定したカメラ映像が表示されます。ウインカーが解除されるとカメラ映像が停止します。

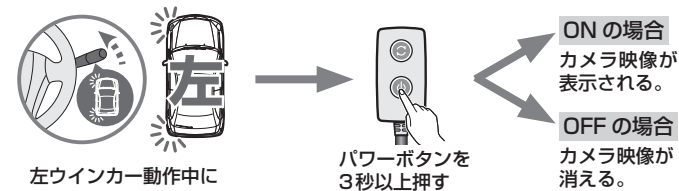


例：左ウインカー動作時

カメラ映像が表示される

パワーボタンが  
ゆっくり  
2回ずつ点滅

機能を ON/OFF するには



左ウインカー動作中に

パワーボタンを  
3秒以上押す

ONの場合  
カメラ映像が  
表示される。

OFFの場合  
カメラ映像が  
消える。

- ウインカー連動を動作させるためにはウインカー信号線の接続、ウインカー連動機能をONに設定する必要があります。
- ウインカー連動機能は左右独立させて設定が必要です。また左右で異なる表示パターンの設定も可能です。
- ウインカー連動機能は「ワンタッチ映像出力<ウインカー連動機能<リバース連動機能」の順で優先作動します。

## ウインカー連動機能の表示変更

→ ウインカー作動時に、表示する映像を変更できます

1. ウインカーを作動させて、カメラ映像を表示させます

2. P8～P12の「表示映像の変更について」をご参照ください

# 表示映像の変更について

## 表示映像の変更

1. エンジンを始動します

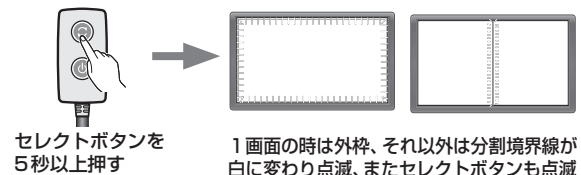
2. 表示を変更したい機能を作動させて映像を表示させます

ワンタッチ出力機能の場合    パワーボタンを押す

リバース連動機能の場合    シフトをRにする

ウインカー連動機能の場合    右または左のウインカーを作動する（あらかじめ、ウインカー連動機能をONにしてください）

3. 映像を表示させた状態でセレクトボタンを5秒以上押します  
分割境界線が白に変わり点滅し、設定モードに移行します



セレクトボタンを  
5秒以上押す

1画面の時は外枠、それ以外は分割境界線が  
白に変わり点滅、またセレクトボタンも点滅

●無操作状態で30秒経過すると、その時の状態を記憶して設定モードが終了します。

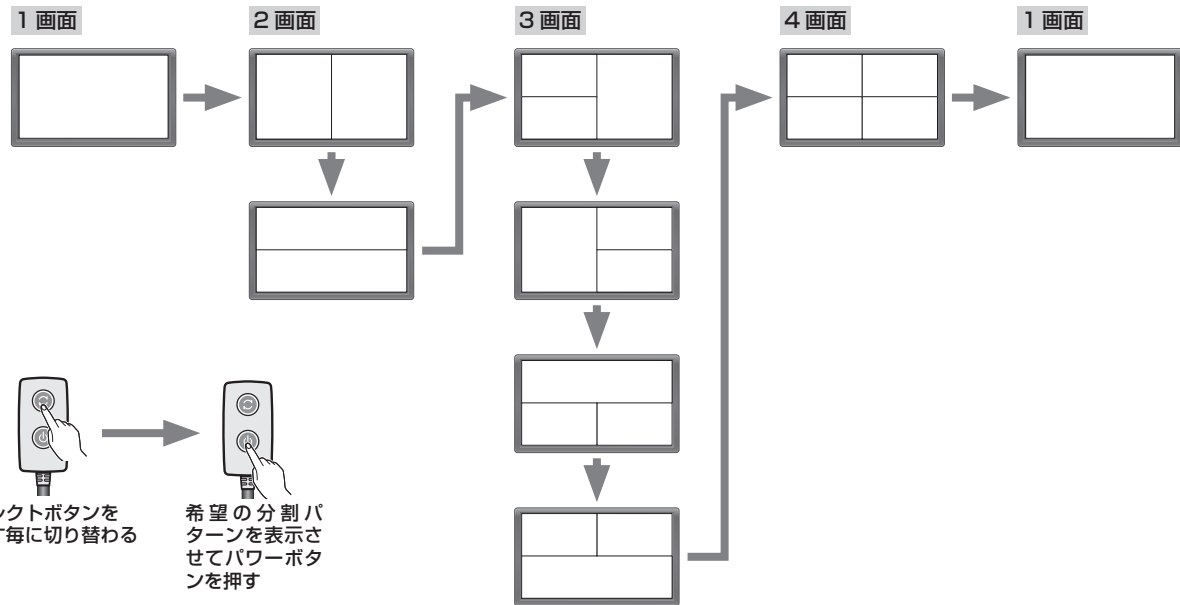
# 表示映像の変更について

## 4. セレクトボタンを押す毎に分割パターンが切り替わります

設定したい分割パターンを表示させてパワーボタンを押して決定します

分割パターンは下記の8パターンです。工場出荷時はin1映像が1画面表示されるように設定されています。

分割パターン変更の詳細はP11～P12の「分割パターン設定方法」を参照してください。



## 5. 分割パターン決定後は、映像割当選択中の画面が点滅します。

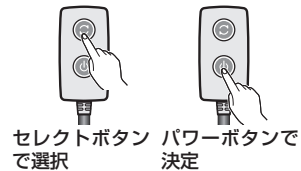
セレクトボタンを押して、表示したいカメラ映像を決めていきます

セレクトボタンを押すごとにin1 → in2 → in3 → in4の順でカメラ映像が切り替わります

希望のカメラ映像が表示されているときにパワーボタンを押して決定します。

引き続き映像割当選択中の画面が点滅します。同様にセレクトボタンを押して、表示したいカメラ映像を決めていきます。

カメラ映像の割当が全て完了すると、画面の点滅は終了します。(セレクトボタンは点灯に変わります)



- エンジンを停止させても、この設定は記憶されています。
- 無操作状態で30秒経過すると、その時の状態を記憶して設定モードが終了します。

# 分割パターンの設定方法 (操作チャート)

(例)ワンタッチ映像出力の時に、横2画面で表示を出したい場合の設定方法

## 1. 設定開始

カメラ映像停止中

パワーボタンを押して、映像を表示する



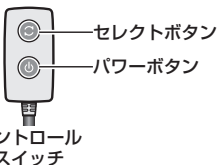
カメラ映像表示中

セレクトボタンを5秒以上押す



設定モード開始

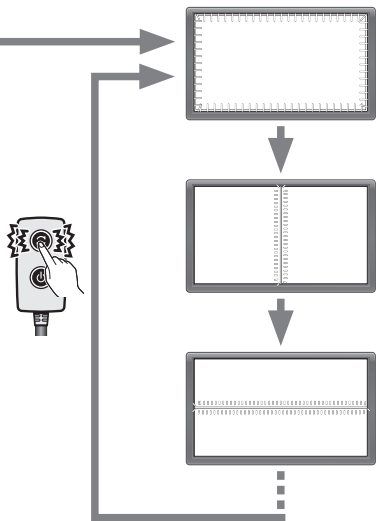
セレクトボタンおよび画面のパターン枠が点滅する



## 2. 分割パターンを選択と決定

分割パターン選択

セレクトボタンを押す毎に表示するパターンが切り替わる (全8パターン)



分割パターン決定

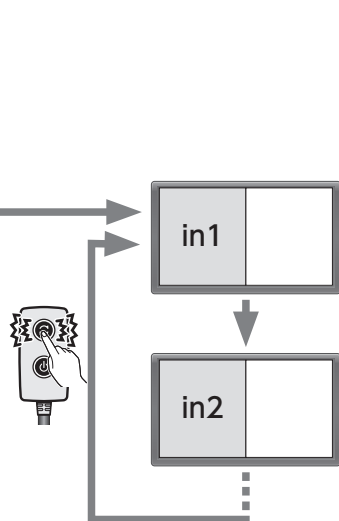
希望のパターンを表示中にパワーボタンを押して決定する



## 3. 画面左のカメラ映像の選択と決定

画面左のカメラ割付選択

画面左側が点滅するので、セレクトボタンを押して、希望のカメラを表示させる。(セレクトボタンを押す毎にカメラが切り替わる)



カメラ選択の決定

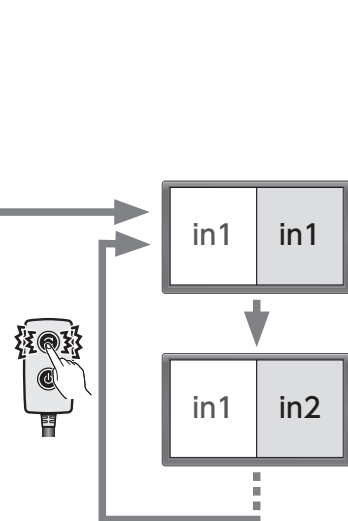
希望のパターンを表示中にパワーボタンを押して決定する



## 4. 画面右のカメラ映像の選択と決定

画面右のカメラ割付選択

画面右側が点滅するので、セレクトボタンを押して、希望のカメラを表示させる。(セレクトボタンを押す毎にカメラが切り替わる)



カメラ選択の決定

希望のパターンを表示中にパワーボタンを押して決定する



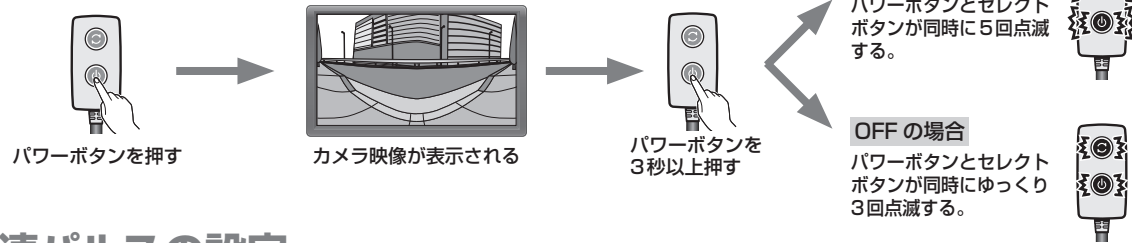
- エンジン停止させても、この設定は記憶されます。
- 各ボタン操作は操作後から30秒以内に行ってください。30秒間操作が無い場合にはその時表示されている状態で設定されます。
- リバース連動機能・ウイinker連動機能のカメラ画面を設定する場合は、それぞれの機能を動作させてからおこなってください。

# 車速連動機能について

## 車速連動機能とは

→ ワンタッチ映像出力中に車速が15km/h以上になるとカメラ映像からナビ画面に戻り、10km/h以下になると自動的にカメラ映像を表示させる機能です。

機能をON/OFFするには



## 車速パルスの設定

→ 車種によって車速パルスが異なりますので、車両の車速パルスに合わせて設定用ディップスイッチを変更してください。取り付けられた車両の車速パルスについては、車両整備資料などでご確認ください

	↓↑	↑↑	↓↓	↑↓
車速パルス	2パルス	4パルス	8パルス	16パルス
スイッチ1	ON	OFF	ON	OFF
スイッチ2	OFF	OFF	ON	ON

- ワンタッチ映像出力機能動作中に作動させることができます。
- 表示される映像は「ワンタッチ映像出力機能」で設定した映像パターンです。
- 車速連動機能作動中は、パワーボタンが点滅します
- 車速連動機能作動中(15km/h以上でカメラ映像が消えている時)に、パワーボタンを押せば映像を出力させることができます。その状態から10km/h以下まで減速したあと、15km/h以上になるとナビ画面に戻ります。

# 工場出荷状態に戻す(リセット方法)

## 本機リセット方法

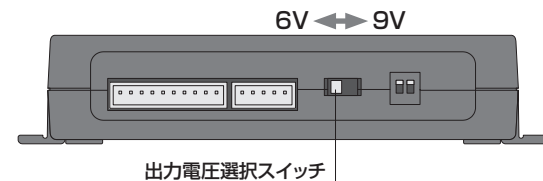
- 1.セレクトボタンとパワーボタンを押しながら車両側イグニッションスイッチをACCの位置にする
- 2.セレクトボタンとパワーボタンが点滅しその後点灯に変わればリセット完了です。スイッチから手を離してください。



# 電圧可変出力について

## 電圧可変出力とは

- 橙線からの電圧出力を6V又は9Vで変更する事ができます。
- スライドスイッチを切り替える事で(橙)線からの電圧出力を変更できます。選択する電圧値については(別売)MCAハーネスの取付説明書を参照してください。





# 故障かな？と思ったら

症状	確認してください
正常に動作しない	●リセットをおこなって再設定してください。
パワーボタンを押しても映像が表示されない (ワンタッチ映像出力機能)	●イグニッションスイッチがONの状態、本機のスイッチは点灯していますか？ 点灯していない場合は電源線の接続、配線をご確認ください。 ●コントロールスイッチを押した後、点灯からゆっくりした点滅に変わらない場合はご相談窓口までお問い合わせください。 ●ナビゲーションの画面は切り替わっていますか？ 切り替わっていない場合はリバーシ信号入力線と出力線の接続をご確認ください。
目的の映像が表示されない (希望の表示パターンになっていない)	●表示パターンは変更可能です。 「表示映像の変更について」をおこなってください。(P8～12ページ参照)
リバーシ連動機能が動作しない	●リバーシ(R)時にコントロールスイッチは点滅していますか？ 点滅していない場合はリバーシ信号入力線[紫線]の接続をご確認ください。 ●リバーシ(R)時にナビゲーションの画面が切り替わらない場合にはリバーシ信号出力線[紫/黒線]の接続をご確認ください。
ウインカー連動機能が動作しない	●接続ハーネスのウインカー線(白線・灰線)は正しく接続されていますか？ ●工場出荷時はOFFに設定されています。P7ページをご参照の上、ONに設定してください。
カメラ画面のガイドラインを消したい (ラインが重複して見難い)	●モニター(ナビゲーション)の説明書に従ってガイドライン表示をOFFにしてください。

# アフターサービス／メーカー保証について

## アフターサービスについて

製品に関してのご相談は当社サービス課までお問い合わせください。

- 製品の調子が悪いとき(P15「故障かな？と思ったら」を参考に一度お調べください)。
- 製品を破損、損傷してしまった場合
- 製品の性能、機能に関してのご質問

## メーカー保証について

付属の保証書に必要な事項を全てご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入が無い場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

- ※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。
- ※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
- ※保証書は如何なる理由があっても再発行致しませんので、あらかじめご了承ください。

**本製品に貼付されている封印シールをはがさないでください。はがすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。**

## ユーザー登録のお願い

製品と同梱の「ユーザー保証登録カード」に必要な事項を全てご記入頂き返送いただくか、インターネット上にて登録をおこなってください。

URL:<https://www.datasystem.co.jp/>

### ご相談窓口

データシステム Webサイト <https://www.datasystem.co.jp/>

☎ **お電話** **086-486-0442** 【受付時間】平日 10:00～12:00 / 13:00～17:00

※年末年始 / 祝日など、弊社休業日を除く

✉ **お問い合わせ(スマートフォン)**

<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



💻 **お問い合わせ(PC)** <https://www.datasystem.co.jp/support/>

※「メールでのお問い合わせ」をクリックして、問い合わせ窓口へお進みください。

MEMO

MEMO



## Data System 株式会社 データシステム

■ [ 本 社 ] 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-2

■ [ 倉敷支社 ] 〒712-8061 岡山県倉敷市神田 1-1-11

弊社に無断で本説明書の内容、図、写真の全部または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。

本取扱説明書は保  
証書と共に大切に  
保管してください。

MCS296-2003-AKN